

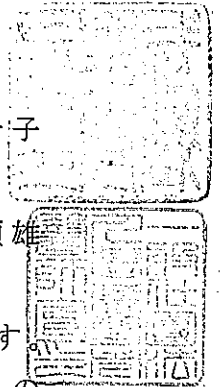
令和3年7月9日

東京都知事  
小池 百合子 殿

新型コロナウイルスワクチンの適正な配分に関する要望書

武蔵野市長 松下 玲子

武蔵野市医師会会長 田原 順雄



平素より当市政に対し、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社製）の各自治体への第11・12クール分の割り当てについては、令和3年7月7日付で厚生労働省健康局健康課予防接種室から「基本配分計画の改定について（第11・12クール分）」が発出されたところです。この中で、国は基本計画枠に応じた配分を行うとしながらも、「総供給量との余剰分については、都道府県の裁量で分配できる調整枠として都道府県に割り当てる。」と記載されており、この調整枠については、東京都の裁量により配分数が決定されるものと思料いたします。

当市では、7月2日から市内の各医療機関で64歳以下のすべての方の個別接種予約を開始しているところであり、また、集団接種予約については、7月5日から段階的に拡大することを予定していましたが、この度のワクチン供給数の急減を踏まえ、個別接種は7月5日に新規予約を一旦停止とし、7月14日に予定している集団接種予約は当面の間、延期の判断をせざるを得ない状況になっています。

個別接種予約は一旦停止しているものの、7月5日から8月末までの間で、個別接種、集団接種合わせて、既に1回目約16,500回、2回目約20,900回の予約を受け付けている状況であり、第11クール以降のワクチン供給量が基本計画枠内にとどまれば、特に7月下旬以降に1回目予約を取っている方については、キャンセルをせざるを得ない状況になりかねません。

7月からは、個別接種を行う市内医療機関が80カ所を超え、集団接種についても、6月中旬から夜間枠を加え、1日あたり最大1,700回以上の接種を実施するなど、安全かつ確実に前提としながら、接種スピードを加速させてきた矢先のワクチン供給数の急減です。このことによる、混乱を至急回避したうえで、市民接種を推進していかなければ、国の示す11月

末までの接種完了を行うことは難しいと言わざるを得ません。

また、当市は、ターミナル駅が所在する都市の性格上、在住市民以外の接種も多く含まれることや、市内在住かどうかを問わず、市内居宅サービス事業所従事者などのエッセンシャルワーカーを対象とした優先接種を実施していることから、市外居住者の個別接種における接種率が約 15%に達し、ワクチン接種回数が多いにも関わらず、ワクチン配分に反映されない状況が生じています。

このような状況を踏まえ、下記の事項を要望します。

#### 記

- 1 これまでの都内自治体へのワクチン配布実績や市民以外の接種も含めた接種実績、ワクチン供給不足により、新規予約延期等を行わざるを得ない状況等を考慮したうえで、調整枠の配分数を決定すること。
- 2 できる限り当市の希望数に沿った配分数とすること。